

信濃毎日新聞 号外

発行所
信濃毎日新聞社
長野市南郷町 657番地
電話(026) 236-3000
編集 236-3111
販売 236-3310 広告 236-3333

松本本社 〒399-8711
松本市宮田 2番10号
電話(0263) 編集 25-2151
販売・広告 事業 25-2153
©信濃毎日新聞社2016年

購読申し込み
フリーダイヤル
0120・81・4341

信毎ホームページ
http://www.shinmai.co.jp

小澤征爾さん グラミー賞



サイトウ・キネン・フェスティバル松本で、オペラ「こどもと魔法」を終え、観客の拍手に応える小澤征爾さん(中央)
=2013年8月23日、松本市のまつもと市民芸術館

SKF「こどもと魔法」指揮 最優秀オペラ録音部門



小澤征爾さん

【ロサンゼルス共同】
中川千歳「世界最高峰の音楽の祭典「第58回グラミー賞」の発表・授賞式が15日(日本時間16日)、米ロサンゼルスで開かれ、日本からは指揮者の小澤征爾さん(80)が最優秀オペラ録音部門で受賞した。

小澤さんの受賞作品は2013年8月、松本市で開かれた音楽祭「サイトウ・キネン・フェスティバル松本(現セイジ・オザワ松本フェスティバル)」で指揮した歌劇「こどもと魔法」を収めたアルバムで、演奏はサイトウ・キネン・オーケストラ。

小澤さんは1960年代からたびたびグラミー賞の候補になっていたが、小澤さん名義のアルバムが受賞したのは初めてという。

松本から世界へ
壮大な夢実結ぶ

「世界のオザワ」と称され、これまで幾度となくグラミー賞にノミネートされた指揮者の小澤征爾さん。総監督を務めた松本市の「サイトウ・キネン・フェスティバル松本(SKF)」のオペラ公演収録アルバムでの受賞は、「世界に向かって西洋音楽を発信する」という、地元と育んできた壮大な夢が実を結んだ形だ。

SKFは、小澤さんの恩師、斎藤秀雄さんをして「なんで門下生らが結成した「サイトウ・キネン・オーケストラ」を母体に、1992年に始まった。1992年に始まった。オーケストラ公演とオペラ公演が2本柱で、小澤さんはオーケストラを率いて聴衆を魅了。音楽祭は昨年「セイジ・オザワ松本フェスティバル(O MF)」と改称された。「あちこちで仕事を始めてきているけど、自分でも始めて、責任もあって、同級生や仲間が世界中から集まっているから、下手なことではない」と音楽祭への愛着を語っていた。

詳細は本紙で